

# 校内研究だよ!

町田市立金井小学校

2018年9月10日

研究推進部

## 9月12日(水) みどりの教室研究授業「国語」話す・聞く

講師:大田区立東椏谷小学校 大場寿子校長先生

13:20 みどり1組 研究授業 T1 瀧尾恵美子先生 T2 野本淳仁先生

14:05※個人の感想・意見・視点をもとに気付いたことなど付箋に記入

14:20 協議会 挨拶・講師紹介・授業者自評

14:30 グループ協議(20分)



全体交流(グループ代表より、協議のまとめや傾向など発表10分)

15:05 講師の先生より指導講評(40分)

15:45 謝辞

### ★グループ協議のメンバー★

A	B	C	D
杉山 1	松原 2	小島 1	吉野 1
田中 2	木下 3	佐藤 3	塩沢 2
金宮 5	窪田 4	谷田部 4	澤田 4
高崎 6	石黒 5	鈴木真 5	時國 6
村上 算	松本 6	母袋 函	東家
菊池み	鈴木音	野本み	河原み
大久保専	瀧尾み	山崎 養	



これらの視点で授業を参観しながら、「**子供の姿**」から「**教師の指導**」から「**環境・場づくり・その他**」から見られることを付箋に記入して下さい。また「ぜひ、学級や学年で取り入れていきたい」実践や系統的にやった方がよいことなども協議会で交流しましょう。

### みどりの教室国語「よい聞き手になろう」 研究授業の視点

○学級経営として「認め合いの視点」

共感の言葉、つなげる言葉を意識しながら、自分のおもいや考えを安心して話せる環境を作っている。

○教科として「学び合いの視点」

自分の話し方を振り返り、相手にきちんと伝えられるために、どうしたらよいのか話し合い(ペア)をしたことよさがわかる。

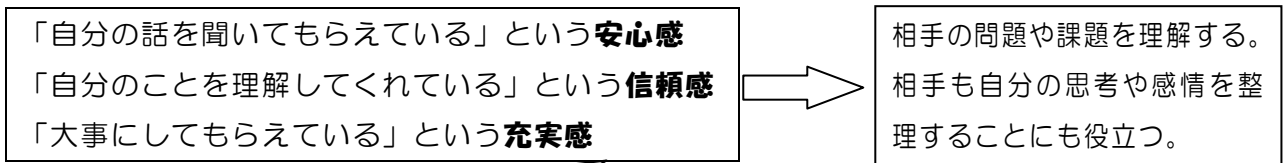


先生に対して**コンプライアンス**（従う・応じる）が困難な子へは、褒め言葉&非言語活動で対応することで、以下のようなやる気を刺激する脳内物質が分泌されるようになる。

- セロトニン**を使いこなす
- 1みつめる
  - 2ほほえむ
  - 3はなしかける
  - 4さわる
  - 5ほめる

セロトニン	ノルアドレナリン	ドーパミン
精神の安定・意欲	不安・恐怖・怒り	快感・喜び「やった〜！」
落ち着き・平常心 ↓ 「やめたくない」 持続的に目標達成に挑む	集中力を高めて臨戦態勢になる。↓ 「やらなければならない」 プッシュ型のモチベーションにする。	さらに大きな快楽を欲する。 ↓ 「もっとやりたい」の プル型のモチベーション
日常の中でうまく5つを使って安心感を与える。	机間巡視や意図的な指名などで適度な緊張感を！	楽しい授業やゲーム。達成感を感じられる活動を！

そして、子供が教師を受け入れるようになれば、**ラポート(信頼)関係**が築けるようになる



- ラポート形成のためのペーシング**をマスターできるとよい。
- ① 鏡のように動作や姿勢をペーシングする。(ジェスチャー・表情・まばたき速度)
  - ② 視覚情報以外の非言語をペーシングする。(話すスピード・声の大きさ・トーン・音色)
  - ③ 言葉そのものをペーシングする。(相手の言葉・感情を繰り返したり、要約したりする)

例えばけんかして怒る A 君

A「〇〇が悪い！」  
 先生「〇〇が悪い・・・かもね」  
 A「俺は、絶対悪くない！」  
 先生「そうだよね。あなたは、悪くない・・・かもね。」



タイプ別対応は、**つづく...**